

バレー部 2年越しの勝利!

呉地区高校選手権 速報

強豪 呉昭和を下す!



湯岡コーチとの呼吸もぴったり!



真剣な眼差しの部員達

1 回戦

黒瀬 25-22 呉昭和

25-17

さる七月二〇日(日)、呉地区高校選手権大会(バレーボールの部)が呉昭和高校体育館で行われた。女子の部に出場した黒瀬高校バレーボール部は呉昭和高校との一回戦を戦い、ファイナルプレーを連発し見事ストレートで勝利した。黒高バレー部として実に二年ぶりとなる公式戦勝利に、会場は歓喜の渦に包まれた。

勝利の女神は努力する者達を見放すことはなかった。この2年、出ては負け、出ては負けを繰り返してきた黒高バレー部に、ついに歓喜の瞬間が訪れた。最高気温32度、猛暑日一步手前の7月20日、うだるような暑さの会場は、黒高バレー部の熱で更にヒートアップした。

勝利への予感があった。かねてから技術レベルの高さに関しては関係者から高い評価を得ていた黒高バレー部。課題は個々の技術のコンビネーション確立と、ここぞという場面での精神力の弱さであると、これまで何度も指摘されながら克服できないでいたが、この日の部員達は何かが違っていた。それを感じさせたのが試合前の公式練習。相手校エースアタッカーの強烈なスパイクに、一瞬空気が凍る。いつもならその一発で諦めムードが漂い、ずるずるといってしまうところであったが、この日の部員達はここからが違った。冷静に相手のくせを分析し、情報を部員間で共有しようとする姿が見られた。

試合では序盤から流れをつかみ、相手のコースを読み、日頃練習することのないブロックも決まりまくる。この日が引退試合となるキャプテン山根の冷静な判断と部員への叱咤激励、相手レシーバーを震え上がらせる飯田の変幻自在なナックル性のサーブ、山本のスーパーレシーブ、洗川(美)の正確なトス、古賀の強力サーブとオールラウンドなプレー、そして仕上げは黒高の絶対的エース山田の強烈なスパイクが随所で決まった。洗川(萌)・久保の1年生とは思えぬ沈着冷静なプレーぶりも光った。2回戦では優勝した清水ヶ丘と対戦した。4月の大会では試合をさせてもらえなかった相手だが、今回は序盤リードするなど粘りを見せ、王者を慌てさせた。

自分たちの試合後には他校の試合の補助員の仕事もしっかりとこなし、マナーの点でもこの日は満点であった。黒高バレー部の今後の飛躍を期待させる試合内容であった。

次は 8月30日呉市民大会 於オークアリーナ 応援よろしくお願いします。